



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
JAPAN EAST REGION TOHSHIN DISTRICT
TOKYO MACHIDA COSMOS



東京町田コスモスワイズメンズクラブ

TO ACKNOWLEDGE the DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT.

「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う。」

2026年4月号

TOKYO MACHIDA COSMOS

Chartered in May 1996

第357号

【今月のことば】



「主はわたしの
岩、わたしの歌。
主はわたしの救い
となってくださ
った。」

新共同訳: 篇118篇 14節の聖句 平本善一選

2026～2027年度主題

クラブ会長 山口和彦 (町田コスモス)	主題: 現実を見すえ、ユースのために着実な一歩を! スローガン: 共に未来を創ろう!
東新部部長 深尾香子 (多摩スマイル)	主題: 「考えること」を止めないで進もう! スローガン: 棚卸と原点回帰。評価から展望へ。
東日本区理事 山下 真 (十勝クラブ)	主題 『ワイズのらしさ再発見』 スローガン Change!
アジア太平洋地域会長 田上 正 (熊本むさしクラブ)	主題 『信念と愛を持って行動しよう!』 スローガン YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう!
国際会長 Edward Ong (シンガポール)	主題 『信念、愛、行動』 スローガン 『共に、より強く』

【4月の強調テーマ】

WeeK 4 Waste/RBM/

2026年4月第一例会

日時 2026年4月2日 (木) 17:30~19:30

オンライン 末尾のページを参考に入室ください

場所 玉川学園コミュニティーセンター 2F多目的4 調理室

オンラインする場合は、末尾のURLをなぞって、URLの窓に貼り付けてください

設営: 加藤、 受付: 富樫 進行司会: 加藤

===ハイブリッド 例会 ===

開会点鐘	会長	山口和彦
ワイズソング	一同	
モットー、ワイズ信条	司会	
今月のことば	加藤祐一	
ゲストビジター紹介	会長	山口和彦
会長挨拶		---



「いまを遺そうーあな
たの“心”を言葉にする
ワークショップ」

佐々木行恵さん
(東京クラブ・書記)

YMCAニュース・アピール
諸報告
ハッピーバースデー
にこにこ献金
集合写真・献金報告
閉会点鐘

担当主事 諏訪治邦
書記 他
会長 山口和彦
ドライバー
司会、会計
会長 山口和彦

巻頭言

“復活”の春



4月を迎え、桜も満開となり、すっかり春になりました。今年のイースターは4月5日(日)だそうです。入学や進学、あるいは入社といった新しい世界が始まる不安と期待でわくわく、ドキドキしたのもはるか昔のことになってしまいました。

退職し、現役を引退し、人とも別れ、そろそろ免許も返納、車ともお別れ、といった年になってしまいました。現役時代、よいこともありました。生活のため、人より早く、しがらみのなかで常にせかされてきた自分は本当に人間らしく生きていたのか、とふと思うことがあります。

現実の社会では競争があり、評価があり、序列があり、分断があります。さいわい、年を重ねそうした世界から押し出された今、序列の無い、“共感”と“きずな”の世界に生まれ直る、という希望があります。その意味では現世的には死んでしまったような今こそが“復活”の春なのではなでしょうか?(山口和彦)

4月Happy Birthday: 1日 山口和彦さん

3月データ	在籍	8名	メン	4名	BFポイント	町田コスモス	
	出席	5名	メーキャップ	0名	切手	0	にこにこ 4,000円
			出席率	50%			累計 41,250円
			メネット	0名	累計	0	
			ゲスト ビジター	1名			

3月第一例会

日時：2026年3月5日（木）17：30～19：30
場所：玉川学園コミュニティーセンター2F多目的1A

出席者(敬称略)：(4名) 山口和彦(会長)、権藤徳彦(副会長)、加藤祐一(書記) 富樫紀代美(会計)

町田コスモス30周年記念例会を向かって、本日はその歴史について整理してみました。

まずはコスモスを生んだクラブ、親クラブは1991年5月に創立した東京まちだワイズメンズクラブです。その一年前の1990年に東京YMCA町田センターが設立されていました。町田YMCAが玉川学園に移転した1995年、その翌年に東京まちだクラブは町田YMCAを支援しようと、1996年5月18日に「コスモスクラブ」創立しました。その尽力したメンバーは南東部部長の小山正直ワイズと景山允男ワイズでした。また、例会で「ミツバチの話」をした松香光夫氏を卓話のご縁で誘い、今村路加氏も誘い、設立時に彼らもワイズメンとして加わりました。松香氏の玉川学園でコスモスの黄色の花を咲かせたというお話から、コスモスの意味には宇宙や秩序の意味があることを知り、「命を繋ぎ秩序が生きるクラブ」を育てたいという願いが込められました。「人が好き 自然が好き YMCAが好き！」を合言葉に活動が始まりました。



そして2016年5月には、チャーター20周年を迎え、親クラブである東京まちだクラブの会員の健康上の理由から退会が目立ち、その後2018年頃からコスモスとの合同例会を盛んにするようになり、2021年に正式に「東京町田コスモスワイズメンズクラブ」となりました。当時の設立準備委員だった小山ワイズについて偲び、のちに、伊藤幾夫さんは「小山さんは、天国にあって喜んでいらっやと思う」と述べておられました。

権藤ワイズや富樫ワイズが古い資料やお話をたくさんしていただき、その後、そのお話をまとめてみました。ありがとうございました。



2月第二例会（部長訪問）

日時：2026年3月19日（木）17：30～19：30
場所：玉川学園コミュニティーセンター2F多目的1A

出席者：(5名) 山口和彦(会長)、権藤徳彦(副会長)、加藤祐一(書記)、富樫紀代美(会計) ビジター：小野実様(東京YMCA担当主事)

第二例会は小野さんを交え、この町田YMCAの運営についてガイドラインや規約に基づき、整理をしてみようとなりました。まず、1990年に東京YMCA町田センターが英会話スクールとして開館しました。その支援を目的として、1991年に「東京まちだクラブ」、1996年に「東京コスモスクラブ」が相次いで設立しました。拠点とスタッフが1995年の玉川学園移転後、1998年に規模縮小によりスタッフレスになり、2002年には事務所も閉鎖されオフィスレスとなりました。この危機に際し、井口総主事から口頭で、両クラブのメンバーはYMCAのプログラムを途絶えさせないようにという希望を伝えられ、自らが「東京町田YMCA活動委員会」という組織をつくりました。ワイズメンが同時にYMCAの「運営会員」として、地域に根ざしたプログラム(わくわく科学実験教室、歌声ひろば等)を直接実施・継続する「新しいカタチの運動体」へと進化しました。

しかし、東京YMCAが2011年に公益財団法人になり、一般社団法人であるワイズメンズクラブと東京YMCAは、組織としての会計処理や認可制度の在り方を厳格に峻別する必要が生じましたが、同じ個人がワイズ会員という属性と東京YMCA会員部会員という二重の属性を持っていたため、運営面において混乱が見られました。これについて“会員部プログラムチェックリスト”等に基づく確認作業が行われました。また担当主事が4月1日から小野様から西島様になることがわかりました。

山口副委員長は、ここに子ども清風食堂に毎月第3木曜、「この指とまれ」型のボランティア活動をする」と述べました。それは町田YMCAの名称を使い、子ども食堂のボランティア登録をしたことが報告されました。これを機会に第二例会(事務会)は、4月から第3木曜から第3金曜のオンライン例会に変更することになりました。なお、ボランティア活動名は、「ここに清風園 ども食堂支援活動」で毎月第3木曜日16時から18時になります。

最後に山口副委員長は、町田YMCAの活動は今後、会員の活発な活動により子ども食堂の定期的ボランティアのようにモデルとなるように展開していき新しいYMCA支援のあり方を模索します。また、本日から怪我で休まれていた諏訪担当主事が復活されました。



次期会長・部役員研修会
会長 山口和彦

3月14日（土）から15日（日）にかけて、東日本区の次期会長・部役員研修会が東山荘（御殿場）で開かれました。次期役員の紹介、挨拶などの後、今回の大きな特徴として、国際・交流事業としてインドのハイデラバードに2月に行ったユースの高校生が、ホームステイの様子はじめ、現地の工学系大学や看護系大学の訪問の様子を、自ら発表してくれたことでとても新鮮で印象に残りました。今後もユースの国際交流への参加をワイズは支援していくことが確認されました。

分科会はランダムに班分けがなされ、自己紹介、ワイズに入った理由等から始まり、多くの分科会ではやはり会員増強について、語られることが多かったようです。特に、クラブの外の人からどんな活動をしているか、見えることが大事では、といった意見が多かったようです。

今回、特に注目を集めたことは分科会の議事のためAIが使われた班があり、その見事さに皆、感嘆していました。二日とも天候に恵まれ、富士山の全貌を見ることができました。



東京YMCA高等学院文化祭に
行ってきました。

3月7日（土）山手センターで行われた東京YMCA高等学院文化祭に行ってきました。

生徒さんの作ったおいしい食べ物が多く出されており、十割そば、白玉ぜんざい、チーズケーキなど堪能しました。また、父母会もおにぎり、生徒さんたちが育てた大根で作ったタクアンや豚汁を販売しており、さらにワイズ（タンポポ、武蔵野多摩）も能登の焼きもち等を販売しており、一通り食べた結果、おなか一杯になってしまいました。

楽しいひと時を過ごすことができました。なお山口和彦は4月から東京YMCA高等学院の理科の先生を勤めることになりました。（山口和彦）



第3回東日本区ナイトフォーラムに参加
山口和彦

3月22日（日）、リモートにて第3回東日本区ナイトフォーラムが開かれ、宇都宮の特定非営利活動法人キーデザイン代表理事、土橋優平さんのお話を伺いました。フリースクールを運営する一方、保護者向けのライン相談室に力を入れているそうです。子どもが不登校になると親は大変悩み心配し、六人に一人の親は離職せざるを得なくなるそうです。そして親自身もメンタルヘルスが不調となり、カウンセラーや精神科を訪ねることになるそうです。学校に行っている間、子どもはいじめや勉強の遅れ、厳しく叱る先生、等にストレスを感じていますが、不登校になってからも、このままでは大人になれないのではないか、とか他の子と交われないとか、いろいろな悩みが生じてきます。不登校への対処として、「学校へ戻す」ことを主眼にせず、「社会へ戻す」ことを考え、フリースクールなどの学校以外の場での教育の機会を提供することに、国も理解を示し、教育機会確保法が施工されました。そうした子どもたちを「あなたのままでいいんだよ」と認めながら、放課後デイサービス、フリースクール、不登校親の会、ファミリーサポート、子ども食堂などの活動を行っているそうです。

町田YMCA活動報告

3月19日（木）、東京町田コスモスクラブ第二例会（事務会）に引き続き、東京町田YMCA活動委員会が権藤、山口、加藤、小野（町田YMCA担当主事）、諏訪（町田コスモスワイズ担当主事）の出席のもと、開かれました。

東京町田YMCA活動委員会ガイドラインでは東京YMCA会員部会員が、当該地域コーディネーター（主事）の管轄のもと、その活動を担うとあり、またワイズメンズクラブも協力することになっています。町田YMCAの活動においては、同じ個人が東京YMCA会員部会員という属性とワイズ会員という属性を持っているため、両者の使い分けに混乱見られることもあり、3月3日に会員部運営委員会で決定された“チェックポイント”によって検証しながら、公益財団法人東京YMCAのブランドを毀損しないように注意を払い、活動していくことが確認されました。また新たな活動として社会福祉法人賛育会傘下の清風園（町田市）のこども食堂の活動に参加していくことが承認されました。（山口和彦）

東京YMCA 近況報告

1. 2月25日、いじめのない世界をめざす「YMCAピンクシャツデー」が全国のYMCAで実施された。東京YMCAでも、各学校、保育園、児童館、学童クラブをはじめ各拠点で、子どもたちや教職員がいじめ反対をアピールするピンクのシャツを着用した他、いじめについて考える様々な取り組みを行い、その様子をHPで紹介した。

2. 愛恵福祉支援財団との共催で「豊かな福祉社会を創るために一失くしたくないもの」をテーマに実施した「第27回愛恵エッセイ賞」の表彰式が、3月7日、北とびあ研修室、及びオンラインで開催された。一般の部、専門職の部、学生の部、外国籍の部の4部門、合わせて252人から作品の応募があり、26人が表彰を受けた。当日は八尾勝審査委員長をはじめ4人の審査委員から作品の講評があり、受賞者から一言ずつ感想が述べられた。

3. 「2025年度日本YMCAユースボランティア認証」として、全国18のYMCAで活躍するユースボランティア245人が認証を受けた。東京YMCAからも野外教育活動をはじめ各方面で活躍しているユースボランティア25人が認証された。

4. 3月19日、一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区東新部主催・東京YMCA会員部共催で「認知症サポーター養成講座」が山手センターで開催され、会員、ワイズメン、職員など28名が参加した。新宿区戸塚高齢者総合相談センター職員2名を講師に迎え、認知症の基礎知識や具体的な声かけや支援の仕方等について講習を受けた。

5. YMCAの創設者ジョージ・ウィリアムズの伝記『赤三角の父 ジョージ・ウィリアムズの生涯』が東京YMCA総合研究機構より発刊された。1918年にケンブリッジ大学出版より刊行された原典を榊原正人理事が翻訳した。中期計画「TOKYO YMCA VISION150」策定にあたり、改めてYMCAの原点を確認・共有したいとの思いから企画された。

6. 全国のYMCAでは新年度、下記の通り総主事が交替する。

- ・日本YMCA同盟 田口努総主事退任
太田直宏総主事就任
- ・YMCAせとうち 太田直宏総主事退任
白鳥雅人総主事就任
- ・ぐんまYMCA 村上祐介総主事退任
池田麻梨子総主事就任
- ・在日本韓国YMCA 朱宰亨総主事退任
劉慶鍾総主事就任

7. 今後の主な行事予定

- ・「早天祈祷会」4月1日（山手センター／オンライン）
- 奨励：篠田真紀子氏（日本基督教団浅草教会牧師／東京YMCA評議員）
- ・「職員就業礼拝・全体職員会」4月1日（オンライン）
- 説教：古賀博牧師（評議員会会長／日本基督教団早稲田教会）
- ・「東日本地区YMCA役員研修会」4月25日（オンライン） 講師：田中哲氏（児童精神科医）
- ・「第35回チャリティーゴルフ大会」4月28日 PGM総成ゴルフクラブ
- ・「第23回会員大会」5月23日 山手センター

今後の予定

町田コスモス

4月2日(木)：17:30 第一例会 玉川学園CC

卓話者 佐々木行恵さん

4月17日(金)：18:00 第二例会 オンラインのみに（4月から例会日変更）

4月18日(土)：W4W 多摩スマイルクラブと合同 乞田川(こったがわ) 桜並木清掃

町田YMCA

4月16日(木)：16:00 清風園 子ども食堂で販売 担当（第3木曜日 16:00-17:30）

4月18日(土)：10:00 わくわく科学実験教室

東新部

4月11日(土)：10:30 東新部Y友広場 ワイワイウォーク「縄文の旅」10:30～市川駅から出発

4月25日(土)：13:30 東新部評議会を予定

5月16日(土)：11:00 東新部の2025-2026年度部大会開催予定

在京ワイズ

5月9日(土)：神田川船の会を実施 隅田川を南下し勝鬨橋から浅草方面へ 締切4月15日

5月23日(土)：午前 在京ワイズ会長会開催

東京YMCA

4月28日(火) 東京YMCAチャリティーゴルフ大会 景品寄付提供の協力もお待ちしております

4月29日(祝・水)：東京YMCA 西東京センターでペタペタウォーク、生田緑地散歩／在京12クラブの会 19:00～20:30

5月23日(土) 東京YMCA会員大会（山手センター、13:30-16:00）、ボランティア表彰、ビジョン150

深悼

謹んで哀悼の意を表します。

佐藤 一男氏（名誉会員・元東京YMCA常議員会議長・元学校法人評議員）1月30日召天 享年98 長年東京YSの会員として貢献をいただきました。

会長 山口 和彦
副会長 榊藤 徳彦
書記 加藤 祐一
会計 富樫紀代美
担当主事 諏訪 治邦



30周年にむかっています（6/27／町田ヴィラホテル）

事務所：227-0036 横浜市青葉区奈良町1566-565 山口和彦気付

第1例会 第1木曜日 17:30～19:30 / 第2例会 第3金曜日 17:30～19:30

場所 第一例会：玉川学園コミュニティセンター 第二例会：オンライン

会費振込先

【銀行口座】きらぼし銀行 玉川学園支店 0137

店番 060 口座番号5048617 東京町田コスモスワイズメンズクラブ

第一例会、第二例会、活動委員会のZOOMを東日本区会議室(QRでスマホ入室OK) (PCは以下コピー)

<https://us06web.zoom.us/j/85962132809?pwd=RbVaXENvua0WYyC46XbHHYgMzhPvE1a.1>